

令和5年度 第3回富士宮市少子化対策推進本部会議 議事録

日 時：令和5年10月6日（金）午前10時～午前11時30分

場 所：市役所 庁議室

出席者：企画部長、企画戦略課長、地域政策推進室長、広報課長、女性が輝くまちづくり推進室長、商工振興課、福祉企画課長、子ども未来課長、健康増進課長、学校教育課参事、企画調整係長、企画戦略課課員

次 第：

1 開会

2 本部長（企画部長）挨拶

3 議事

- (1) 第4回富士宮市少子化対策推進本部幹事会の協議内容について：幹事長（企画戦略課長）から説明
- (2) 新たに実施を検討している少子化対策関連事業について：幹事長（企画戦略課長）から説明

議事（1）（2）についての意見

- ・（女性が輝くまちづくり推進室）拡充事業、新規事業の表記の仕方を検討されたい。
- ・（子ども未来課）子ども医療費の表記についても市の持ち出しが増えていることが分かるような表記としたい。
- ・（企画部長）若者は、経済的負担に対する不安を持っている。また、職場や地域など子育て環境についても休みづらいと結婚への意識が向かなくなる。富士宮市の特徴として25～30歳くらいまでの男性が非常に多い。製造業のまちということもあり、女性の働きやすい環境とは言えず、非製造業の仕事を増やすことに加え、出会いなどのきっかけ作りが大切である。
- ・（子ども未来課）保育園、幼稚園の給食費を下げたい。特に幼稚園は今年に入って上がっており、いつまで補助するかという問題もある。また、来年度は副食費を上げる、検討する園がいくつか出てきている。
- ・（女性が輝くまちづくり推進室）委託料を増やして事業を増やすなど拡充できるものがないか検討。シェアサポート事業など、金額や相手方との協議を重ねる必要がある。
- ・（子ども未来課）たすき帳について、講座参加者も増加傾向であるが、もうひと工夫できるか検討。
- ・（商工振興課）空き店舗補助について、女性が働きやすい職場の進出に対しては200万円補助するなども考えられるか。
- ・（企画部長）市立病院の出産環境の改善事業も少子化対策の一つといえるので加える。

- ・(健康増進課) 産後ケア事業の需要がある。職員の体制など、内部マネジメントの強化を図りたい。
- ・(学校教育課) ランドセルの半額補助なども検討することが可能かもしれない。また、山村留学など、特色ある学校として残すことも検討する必要がある。
- ・(企画部長) 例えば、婚姻数、出生数、合計特殊出生率、子育て世帯の数など成果として目標を意識することも重要。これを補完するものとして、移住者数、転入者数、施策PR件数(LINE、HP)などが考えられる。
- ・(広報課) アウトカム指標(ウェルビーイング)を図示することもできるか。LINEでは2千件程度の回答が見込めるので活用を検討したい。
- ・(健康増進課) 父親の育児参加における冊子制作について、母力向上委員会が各課へヒアリングを行う予定である。各課対応をお願いしたい。

4 その他

今後、少子化対策推進本部での検討状況を二役へ説明予定。

5 閉会